社会福祉法人
高槻ライフケア協会

高槻ライフケア協会
新理念作成プロジェクト

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

①理念改定の背景と現状分析

「さまざまなハンディをもちつつも一人の人間として、
町のなかで暮らしを営み、自己決定、権利擁護が
日常的で自然になるような地域社会づくり」

上記理念の歴史や背景。高槻ライフケア協会が直面している社会的背景（少子高齢化、地域医療の需要増加など）。現在の課題、理念改定取り組む背景などについて

→河坂理事長に記載依頼

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

②新しい理念の策定プロセス

新理念策定にあたり、高槻ライフケア協会では、2024年5月10日に「新理念策定委員会」を発足しました。

この委員会には、現場を支える介護職から4名、事務職から1名、そして全体を統括する理事1名の合計6名が選任され、多角的な視点を反映する構成となりました。

特に介護現場からは、利用者様に最も近い立場で日々のケアを実践している職員が4名参加し、現場の声や課題を直接理念に反映することを目的としました。事務職の代表は、協会の運営や管理の視点から新理念を支える現実的な基盤づくりを担い、理事の参加により、全体的な方向性が協会の長期的なビジョンと一致するよう調整が図られました。

委員会では、「さまざまなハンディをもちつつも一人の人間として、町のなかで暮らしを営み、自己決定、権利擁護が日常的で自然になるような地域社会づくり」という今までの理念を基盤に、協会全体で共有できる価値観と実践可能なビジョンを策定することを目指しました。それぞれの立場からの意見やアイデアを尊重しつつ、協会全体が一致団結して次のステップへ進むための道標となる理念の構築を目指してきました。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

新理念策定委員会開催日

第1回　2024年5月10日13時半～16時半

第2回　2024年6月14日13時半～16時半

第3回　2024年7月18日13時半～16時半

第4回　2024年9月26日13時半～16時半

第5回　2024年11月28日13時半～16時半

理念策定のプロセス図

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

高槻ライフケア協会の理念

高槻ライフケア協会が取り組むべき社会課題＋社会福祉法人としての役割

社会の様々な課題

高槻ライフケア協会職員、一人一人の思い

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

新理念策定に向けての全体の流れ

① 各自自己紹介
② 社会福祉法人とは
③ 理念とは
④ ワーク①　自分にとって最も大切なポリシー、概念は何か？
⑤ ワーク②　高槻ライフケア協会の良い所、改善したいところ
⑥ ワーク③　こんな社会であって欲しい、こんな社会は嫌だ
⑦ ワーク④　「目指すべき社会」を実現する為に、社会福祉法人として・高槻ライフケア協会として目指したいことを考える。
⑧ ワーク⑤　理念構築ワーク

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人とは

社会福祉法人とは

社会福祉法人と株式会社の共通点と相違点

社会福祉法人の価値とメリット

社会福祉法人高槻ライフケア協会のこれまで

社会福祉法人高槻ライフケア協会のこれから

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人と株式会社の共通点と相違点

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人＝非営利法人、株式会社＝営利法人

共通点

・事業＝商売をする法人

・事業をすること＝社会のニーズに応えること＝社会貢献

・事業をすること＝金儲け

社会福祉法人と株式会社の共通点と相違点

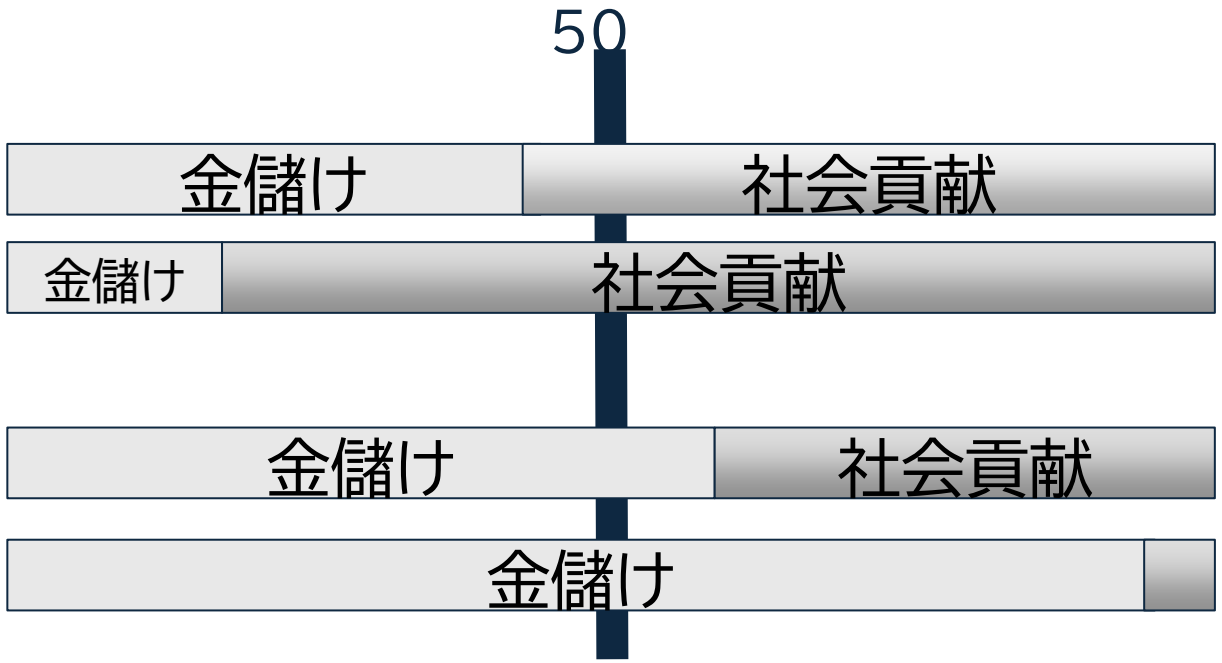
社会福祉法人
高槻ライフケア協会

相違点
・営利目的かそうでないか≒金儲けの優先順位が一番目かそうでないか

社会福祉法人
金儲け　＜　社会貢献

株式会社
金儲け　＞　社会貢献

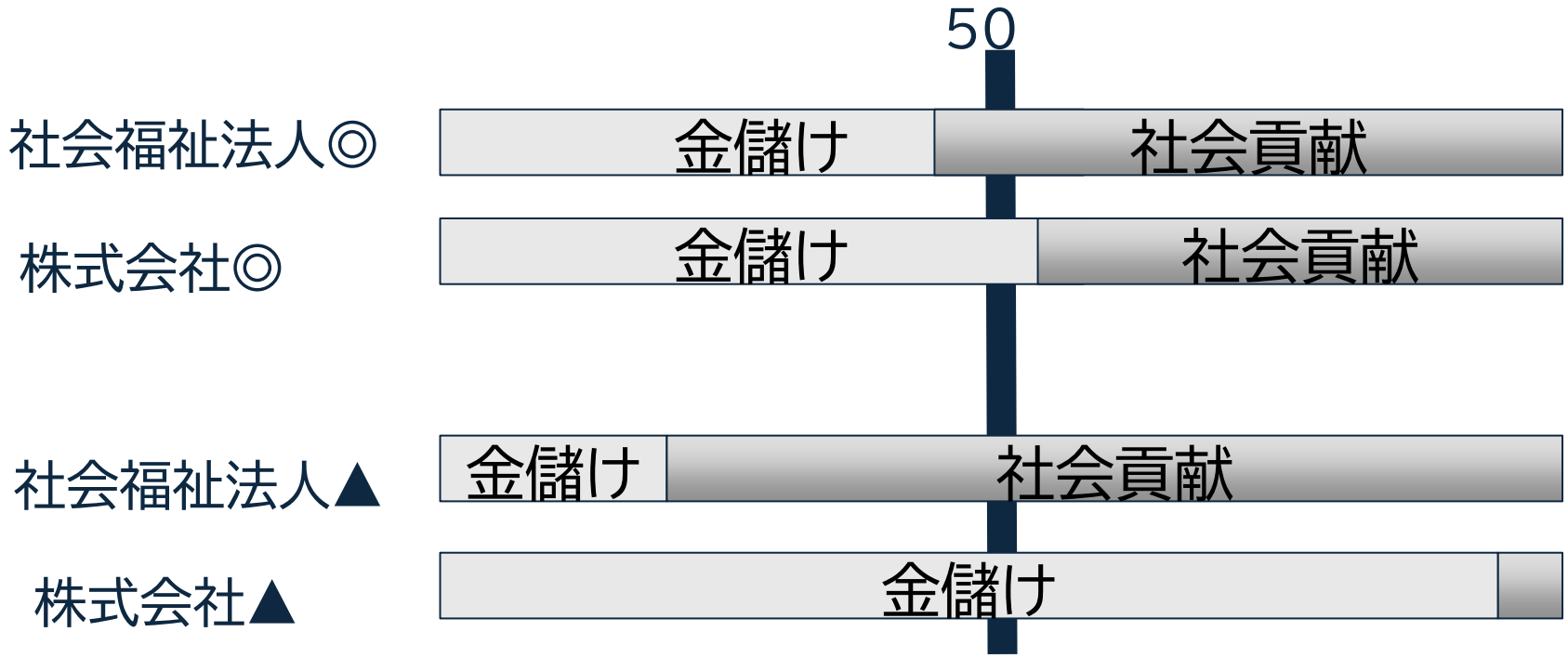
優先順位が逆転はNG



社会福祉法人と株式会社の共通点と相違点

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

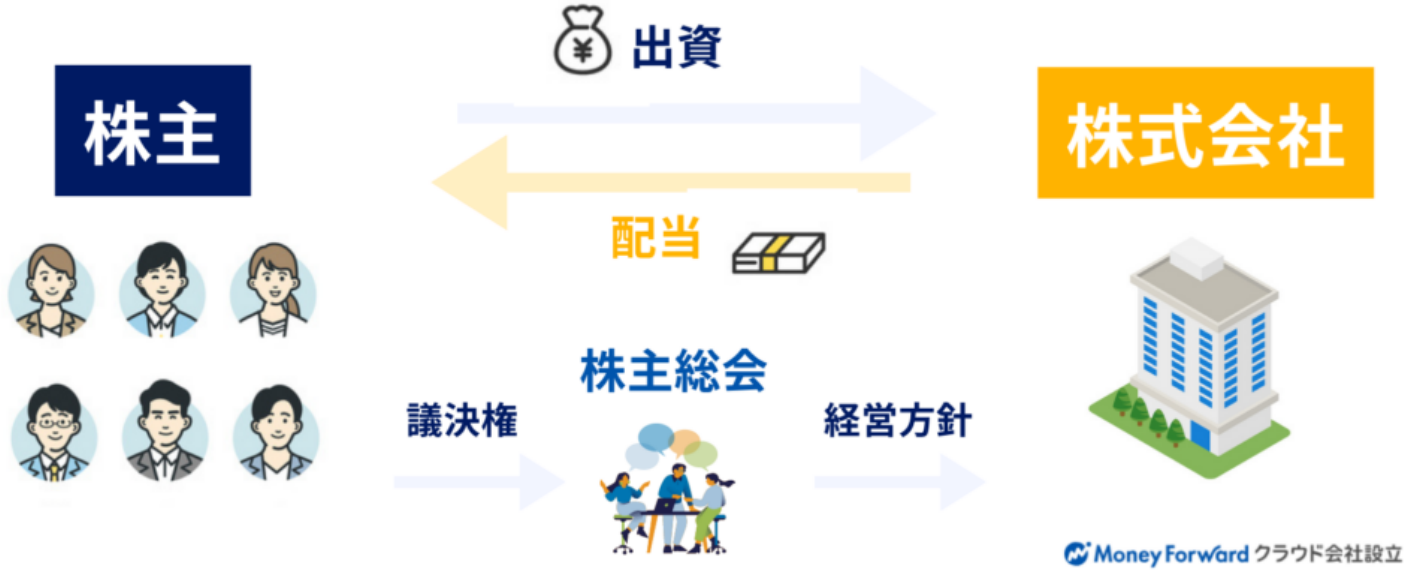
現代社会はSDGs
誰もが社会貢献をしなくてはいけない時代



社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人のメリットと価値

営利企業は金儲けが大事



社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人のメリットと価値

社会福祉法人は人間を一人の尊厳ある人と見る

非営利
公益性

税制・補助金などメリット

公益事業の運営

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人高槻ライフケア協会のこれまで

1991年　ケアワーカー派遣事業とケアワーカー養成事業

2000年　社会福祉基礎構造改革と介護保険制度
医療的ケアの研修など各種研修
地域交流の取組み

社会的ニーズに対して先駆的行動や斬新な取組みが可能

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

（営利法人＝土屋を例に）

土屋は社会貢献にも重きをおく会社＝ソーシャルビジネス企業

ソーシャルビジネスとは、社会課題の解決をビジネスの手法によって行うこと

株式会社土屋とは、47都道府県に重度訪問介護事業所を開設した企業

障害者総合支援法における重度訪問介護という制度があるからできる

≠　社会福祉法人は、社会福祉事業の運営と公益事業の実践を行う

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

社会福祉法人高槻ライフケア協会のこれから

設立～33年
「ハンディがあっても、住み慣れた街で暮らせる地域社会づくり」

仕事＝事業の一端を担う＝社会貢献

社会福祉法人の経営原則
①自主的な経営基盤の強化
②福祉サービスの質の向上
③事業経営の透明性の確保

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

理念とは

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

理念とは

1. ものの原型として考えられる、不変の完全な存在。イデー。イデア。
2. 事業・計画などの根底にある根本的な考え方。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

一概に理念といっても

＜ミッション＞

企業の存在意義や目的を表すものです。企業が何をするために存在するのか、どのような価値を提供するのかを明確にします。

＜ビジョン＞

企業が将来的に目指す姿や達成したい目標を示すものです。企業の長期的な方向性や理想像を描きます。

＜バリュー＞

企業が大切にする価値観や行動指針を表すものです。企業の文化や日々の活動において重要視される原則を示します。

様々な企業の理念

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

株式会社ZOZO	世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。 Be unique. Be equal.
株式会社オリエンタルランド （東京ディズニーリゾート）	自由でみずみずしい発想を原動力に すばらしい夢と感動 ひととしての喜び そしてやすらぎを提供します。
ソフトバンク株式会社	経営理念：情報革命で人々を幸せに ビジョン：世界の人々から最も必要とされる企業グループ バリュー：努力って、楽しい。
サントリーホールディングス 株式会社	サントリーグループの約束：水と生きる。 わたしたちの使命：『人と自然と響きあう』。 わたしたちの志：『Growing for Good』 （いまよりももっと誠実で、信頼される企業。そんな“Good”な企業に向かって成長しつづけること） わたしたちの価値観：やってみなはれ・利益三分主義
PATAGONIA（パタゴニア）	ミッション・ステートメント 私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

大多数の法人で起きていること

素晴らしい理念を掲げている

しかし

形骸化している

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

なぜなら・・・

①抽象的だから
②理念に対する説明が不足しているから
③掲げているだけで、浸透させる取り組みをしていないから

つまり
「新しい理念を創る！」と共に「浸透させる！」ことが重要

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

理念経営を行うメリット

1.同じ価値観で仕事を行う

2.評価基準の明確化

3.優先順位の明確化

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

ワーク①
自分にとって最も大切なポリシー、概念は何か？

「ワーク①　自分にとって最も大切なポリシー、概念は何か？」で出た意見

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

自分が安定することが基本、相手のペースに合わせる、やさしさ、笑わせる、自分から、どうして欲しいか？（相手目線）、利用者の歯がゆさを理解、この方と出会えて感謝、地域の中でよりよく生きていくことを支えあう、介護者と被介護者の相互扶助、機械的に決められたサービスの提供、利用者への接し方が上司がいると変わる、怖いスタッフ、相手の気持ちを考える、自分の在り方が相手にも伝わる、安心安全な介護サービスを提供し信頼を頂く、人の排除は×、仕事は目標をもって行う、挨拶をする、約束守らない、できないことは謝る、人としての姿勢、自分が安定している、利用者の為に努力する、職員も選択させて欲しい、利用者にも選択して欲しい、無視されること

「ワーク①　自分にとって最も大切なポリシー、概念は何か？」の意見集約

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

委員一人一人の「思い」を下記の5項目にまとめました。

- 相手のペースに寄り添い、感謝と優しさをもって支える
  利用者の気持ちや歯がゆさを理解し、相手目線で行動しながら信頼を築く。
- 安心・安全なサービスを提供し、つながりを大切にする
  利用者と介護者が互いに支え合い、地域でよりよく生きる関係を目指す。
- 自分自身を整え、誠実で一貫した態度で接する
  安定した心構えを持ち、約束を守り、できないことは素直に謝る。
- 利用者と職員が自由に選択できる環境を尊重する
  個々の希望や選択を大切にし、機械的なサービスにとどまらない柔軟な対応を行う。
- 排除を許さず、多様な人が安心して暮らせる場をつくる
  人としての姿勢を大切にし、全ての人が尊重される環境を守る。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

ワーク②
高槻ライフケア協会の良い所、改善したいところ

「ワーク②　高槻ライフケア協会の良い所、改善したいところ」で出た意見

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

規模が小さい、地域に密着、障がい高齢者共に支援している、高槻市の全域をサポートしているがもっと地域を絞った方が良いのでは？、効率化も必要では？、ケアプランセンターがあった方が良い（訪問介護員との連携が難しい）、ケアリッツに見習うこともあるのでは？、効率を求めすぎない社会、情報共有のツールがない、職員同士がサポートしあう法人、皆優しい、責任感ある、個性的、多職種の専門性、話を聞いてくれる、情報共有がうまくいかない、ぎりぎりになって動く、統一性がない（よくも悪くも）、
職員同士が話し合う、老舗・歴史がある→地域に信頼されている、当事者主体、相互扶助＝対等、ガラパゴス？アナログ過ぎる、組織体制：レスポンスが早いこととほっとかれることと、組織としての意識改革：ルールの不在？、アットホーム、利用者の要望を受け止める（ニーズに応える）、新しいことにチャレンジ、組織全体・計画が見えにくい、個人頼み事業所としての落とし込み不足？、非効率的、職員の自己犠牲に甘えているのでは？
小規模、地域密着、臨機応変に対応、ニーズに応じる、職員がやりたいことが実現可能、環境が良い、スタッフ皆が優しい、自分の家族も利用したい、地域ともっと交流したい、地域にもっと知って欲しい（発信がたりない）、人が足りない中で残って仕事してる（残業つけていない）

「ワーク②　高槻ライフケア協会の良い所、改善したいところ」の意見集約

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

1. **地域密着**
   小規模かつアットホームな環境で、地域のニーズに応える支援を実施し、地域住民から信頼されている。しかし、支援エリアが広く非効率的な側面もあり、サービス提供エリア等の絞り込み等が課題。
2. **当事者主体**
   障がいや高齢者一人ひとりの思いや状況に寄り添い、本人主体の支援を行っている。個々のニーズを尊重しながら、柔軟な対応を継続することが求められる。
3. **職員同士のサポート体制**
   職員同士がサポートし合い、話を聞く文化が根付いているが、情報共有不足や職員間で連携が難しい面がある。多職種の専門性を活かしつつ、連携を深める仕組みが求められる。
4. **働きやすさと自己犠牲に支えられている面**
   職員が責任感を持ち、新しいことに挑戦できる環境がある一方で、サービス残業等の自己犠牲に頼る状況や残業の未申告が見られる。無理なく働ける環境の整備が課題。
5. **ガラパゴス的なアナログ体制**
   アナログ文化により効率性が低下しており、情報共有のツール導入や組織としての意識改革が求められる。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

ワーク③
こんな社会であって欲しい、こんな社会は嫌だ

「ワーク③　こんな社会であって欲しい、こんな社会は嫌だ」で出た意見

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

こんな社会であって欲しい

元気な方（高齢者等）が働ける社会、社会全体が介護に理解のある社会、皆が平等な社会、多様性が認められる社会、困ったときに気軽に相談できる社会、コミュニケーションが重要、助け合える社会、自己決定を尊重する社会、自己責任を押し付けすぎない社会
人にやさしく笑顔があふれる社会、優しい社会、寛大な社会、、気持ちに余裕がある社会

こんな社会は嫌だ

犯罪の少ない社会、戦争のない平和な社会、戦争がなく差別がない社会、犯罪多い
差別の少ない社会
時間的余裕のある社会、気持ちに余裕がある社会、余裕がない
自己責任を押し付けすぎない社会
ごみ問題がない社会、食品ロスがない社会
できる人がどんどんやってできない人がやることない
子育てしてて目線が怖い、警戒心が強い、余裕のある子育てができる社会

「ワーク③　こんな社会であって欲しい、こんな社会は嫌だ」の意見集約

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

1. **支え合いと助け合いのある社会**
   困ったときに気軽に相談でき、互いに支え合い、助け合える温かな社会。
2. **自己決定が尊重される社会**
   自己責任を押し付けすぎず、一人ひとりの意思や選択が尊重される社会。
3. **多様性と平等が尊重される社会**
   すべての人が平等で多様性が認められる寛大で優しい社会。
4. **笑顔と心の余裕が広がる社会**
   コミュニケーションを大切にし、人にやさしく、笑顔と気持ちの余裕があふれる社会。

委員会の意見をまとめたイメージ図

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

利用者の生活

反差別・尊厳・権利
・ソーシャルインクルージョン
・ダイバーシティ

地域での生活

介護職の姿勢・権利

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

理念形成プロセスのディスカッション

＜理念形成に向けたディスカッションの記録＞

理念の作成に向けた話し合いでは、「多様性・協調性・おせっかい・つながり等」というキーワードが浮かび上がりました。その中でも、「多様性」がなぜ必要なのかを議論する中で、ある委員がこう述べました。

「自分自身が排除されたくない。だから誰も排除しない。」

この意見には、委員全員が深く共感しましたが、同時に「人を排除しようという加害者を排除せずにいられるのか？」という根本的なテーマが浮かび上がりました。「犯罪者や他者を排除しようとする人を排除しない対象として受け入れることが可能なのか？」という難しい課題を前に、ディスカッションはさらに深まりました。「命の価値を否定し、他者を排除しようとした行為」が多くの痛みと衝撃を社会に与えた事件、相模原障がい者施設殺傷事件も話題に上がりました。この話題を受け、「人を排除しようという考えを持つ人を受け入れることが果たして可能なのか」という問いが全員の中で重くのしかかり、最終的に議論は、「誰かを排除しようという行為そのものを受け入れることは、多様性を守るという理想と相容れない。しかし、誰かを排除しようとしない人であれば、誰も排除しない」という結論に至りました。この考え方は、「多様性」と「協調性」を守るための基準となり、また、対話と受容の限界を明確にするものでした。このディスカッションを通じて、「多様性」を尊重するとは何か、そしてその理念を具体的にどう実践するかを、参加者全員で深く考え抜いた結果、「人を排除しない社会」の条件とその限界が明確化され、理念の基盤が形作られました。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

新理念策定委員会では、「何を目指すのか？」「何を実現するのか？」「何を大切にするのか？」についてのディスカッションが活発に行われ、多くの意見が出されました。その中で、法人としての方向性や大切にしたい価値観が徐々に明確になってきました。

しかし、理念を具体的な言葉としてまとめる段階では、意見の集約が難航し、候補案を複数作成する形に落ち着きました。今後はこれらの候補案をもとに、法人全体での意見交換を通じて、最終的な理念を確定していく予定です。

今後は、全職員が参加できる場を設け、多様な視点を反映しながら、法人全体で共有できる理念の完成を目指します。現段階で提示させて頂いたのは候補案であり、法人全体でのディスカッションの中で自由に修正・追記等して下さい。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

具体的な新理念案

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

ミッション案

① 「地域とともに、一人ひとりの暮らしに寄り添い、心温まる支援を通じて安心と笑顔を届ける。」

② 「すべての人が自分らしく安心して暮らせる地域社会を当事者と共に築く。」

③ 「当事者主体の支援を通じて、地域に根ざした笑顔あふれる社会を創る。」

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

ビジョン案

① 「高槻市で最も信頼される、すべての人が安心して支え合える場を築く。」

② 「多様な個性を尊重し、すべての人が温かく迎え入れられる地域コミュニティの実現。」

③ 「誰一人排除されることなく、支え合いと笑顔があふれる地域福祉の未来を築く。」

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

バリュー案

① **尊重と受容**
誰もが自分らしくいられる環境を大切にし、お互いの違いや個性を認め合う。
② **支え合いと協力**
職員同士、利用者、家族が助け合い、共に目標を達成する姿勢を持つ。
③ **自己決定の尊重**
利用者一人ひとりの意思や選択を重んじ、主体的な生活をサポートする。
④ **誠実と信頼**
約束を守り、誠実に対応することで、利用者や職員同士の信頼を築く。
⑤ **柔軟性と挑戦**
課題や変化に対して前向きに取り組み、新しい可能性を開拓する。

社会福祉法人
高槻ライフケア協会

新理念策定委員会では、活発な議論を通じて、多くの意見と想いを集め、法人の未来を描くための土台を築いてきました。

このたび、私たちが共有した価値観や方向性をもとに、理念の最終決定を高槻ライフケア協会全ての職員に委ねます。

このプロセスを通じて生まれた多くの視点と参加した委員の熱意が、最終的な理念にしっかりと反映されることを願っています。そして、この理念が法人の新たな一歩を支える灯台となり、職員一人ひとりが誇りを持って活動できる未来を築く基盤となることを心から期待しています。